

[JASA Member News 020 / 2022FY] 米ウイグル強制労働防止法、暗号アルゴリズムの利用実績に関する調査、デジタルの日、会員ビジネス情報

1件のメッセージ

2022年6月21日 13:00

* このメールはJASA会員の連絡ご担当者様、ならびに受信ご希望者に送信しています。

JASA Member News 2022年度 202号をお届けいたします。

»» ゼひ各記事のご担当者様への転送をお願いいたします <<

=====★御社のビジネス情報を会員に配信いたします。

URL <https://www.jasa.or.jp/collabo-mail/>

☆『JASA Member News』バックナンバー照会 / 購読者の追加・削除は次のURLから

URL https://www.jasa.or.jp/archive/pr_archive/jasa-member-news/

=====1. 米ウイグル強制労働防止法

2. 暗号アルゴリズムの利用実績に関する調査

3. 「デジタルの日」開催・ご協力依頼

4. 会員ビジネス情報；東京都立産業技術研究センター

=====1. 米ウイグル強制労働防止法

(済産業省 情報産業課)

この度、6月13日（米国時間）、米国税国境保護局（CBP）より、ウイグル強制労働防止法について、輸入者に対する運用ガイダンス（別添PDF）が公表されました。

それに伴いまして今般、企業の皆様が参照しやすいよう、JETROから「暫定的な仮訳」が公表されましたのでご連絡致します。

同ガイダンスは、以下の4項目について説明。

- (1) ウイグル強制労働防止法に基づく拘留・排除・押収・没収など執行プロセス
- (2) 輸入禁止措置に対する例外の申請
- (3) 輸入者のサプライチェーン・デュー・ディリジェンスに利用し得る参考資料やツール
- (4) CBPが輸入者に対して要求する可能性のある情報の種類と性質

また、これまでに強制労働など人権侵害があったとしてWROが出された、綿、トマト、太陽光パネル原料のサプライチェーン・トレーシングについての具体的なガイダンスを提示。

ジェトロ、米国のウイグル強制労働防止法ガイダンス（暫定的な仮訳 2022年6月17日）

<https://jasa.or.jp/dl/gov/20220621.pdf>

=====2. 暗号アルゴリズムの利用実績に関する調査（協力要請）

（野村総合研究所：IPA委託事業）

先般、ご案内を差し上げました「暗号アルゴリズムの利用実績に関するアンケート調査」につきまして、これまでにアンケー

トへのご回答をいただき、御協力を賜りました会員企業の皆様方に心より深く感謝申し上げます。

「暗号アルゴリズムの利用実績に関するアンケート調査」は、「次期電子政府推奨暗号」の選定を含むCRYPTREC暗号リスト改定を中心に、今後の暗号政策の立案・遂行等のために必要となる社会的意義の高い調査となっております。

当協会の会員企業の皆是非とも本調査へのお力添えを賜りたく、まだアンケートへのご回答をいただけていない皆様におかれましては、差し支えない範囲でのご回答で結構ですので、御協力いただけますと幸甚に存じます。

アンケート締切：6月27日（月）

回答方法

<https://truenavi.net/q/crypto.html>

※TrueNaviは株式会社野村総合研究所が提供しているインターネットによるアンケート事業の名称です。

※暗号アルゴリズムが組み込まれている複数の異なる製品・サービスを取り扱っている場合は、回答を分けていただき、複数回にわたってアクセスし、それぞれの製品・サービスについてアンケートをご回答ください。

=====

3. 「デジタルの日」開催・ご協力依頼

(経済産業省 情報産業課)

2021年から「デジタルの日」が創設されました。2022年以降は「毎年10月の第一日曜日・月曜日をデジタルの日」とし、また「毎年10月をデジタル月間」とします。

2022年の「デジタルの日」賛同企業・団体の募集を開始しました。2022年の「デジタルの日」に関するイベント等情報の発表、また「good digital award」の募集受付は近日実施予定です。

デジタルの日詳細・賛同企業・団体申請

https://www.digital.go.jp/policies/digital_days/

=====

4. 会員ビジネス情報；東京都立産業技術研究センター

中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業2022年度公募型共同研究募集（2022年10月開始）の案内

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は中小企業との共同研究を通じて、5Gを利用したロボットやIoT関連の製品開発を促進する「公募型共同研究」を実施しています。この度、2022年度10月開始の共同研究テーマを追加募集します。

研究実施対象者

研究実施対象者 東京都内に登記簿上の事業所があり、日本国内に活動拠点を構える中小企業者。またはその中小企業者を代表申請者とし、中小企業者、大企業、大学等の複数の法人で研究開発を希望する共同体。

研究の種類

- (1) ローカル5Gを活かしたサービスロボット研究
- (2) ローカル5Gを活かしたソリューション研究
- (3) 次世代通信技術を活かしたソリューション研究

委託上限額

- (1) 5,000万円/テーマ
- (2) ① 2,000万円/テーマ（1年間）
② 3,750万円/テーマ（1年6ヶ月間）（上限2,500万円/年）
- (3) 2,000万円/テーマ

申請受付期間

2022年7月14日（木）～2022年7月19日（火）

募集詳細

<https://www.iri-tokyo.jp/site/kenkyu/2022oct.html>

★ 「JASA Member News」では、御社のビジネス情報を会員に配信いたします。

URL <https://www.jasa.or.jp/collabo-mail/>

/_/_/_ 発信元 _/_/_

一般社団法人 組込みシステム技術協会

Email jasainfo@jasa.or.jp

» 『会員向けメニュー』会員情報変更・会員情報配信・限定サービス

URL <https://www.jasa.or.jp> (JASAホームページ最上段右手)